3 季節と生き物

考えてみよう

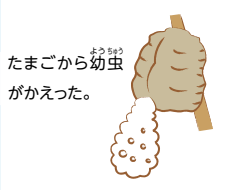
季節によって、生き物の様子はどのように変化するか考えてみましょう。

春

田んぼ

ソメイヨシノ

オオカマキリ



昼間が次第に長くなり暖かくなると、多くの生き物が活動や成長を始めます。

夏

田んぼ

ソメイヨシノ

オオカマキリ

太陽が高く上がるために光が強く、また、昼間の時間が長いために暑くなります。春のころに比べて生き物の数や種類が増え、生き物の活動がさかんになります。

秋

田んぼ

ソメイヨシノ

オオカマキリ

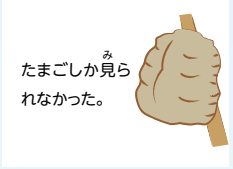
昼間が短くなりすずしくなると、夏のころに比べて生き物の数が減ったり、冬をこえる準備をする生き物が見られたりします。

冬

田んぼ

ソメイヨシノ

オオカマキリ



太陽の高さが低いために光が弱く、また、昼間の時間が短いために寒くなります。秋のころに比べて生き物の活動や成長がにぶくなり、生き物はいろいろな姿で冬をこします。

- ○ イネは普通栽培の場合、春に種から芽がでて苗に育ち、初夏に田植えが行われます。イネは、夏に大きく成長し、秋にみのり、収穫されます。
- ○ ソメイヨシノなどの植物は、暖かい季節に枝やくきをのばし、さかんに成長します。寒い季節になると、ソメイヨシノは葉がかれ落ち、枝に新しい芽をつけて、冬をこします。
- ○ 草花には、春に芽をだし秋にみのるものと、秋に芽をだして冬をこし春～初夏にみのるものに分けることができます。
- ○ 動物の多くは、暖かい季節にさかんに活動して成長したり、数が増えたりします。寒い季節になると、いろいろな姿で冬をこします。

●トンボ

鹿児島市には、約 70 種類のトンボがいるといわれています。季節によってどのようなトンボを見ることができるのでしょうか。

春に見られるトンボ

シオヤトンボ

ヤマサナエ

初夏に見られるトンボ

チョウトンボ

ハッチョウトンボ

秋に見られるトンボ

ナツアカネ

マユタテアカネ

春～秋（長期間）に見られるトンボ

ウスバキトンボ

シオカラトンボ